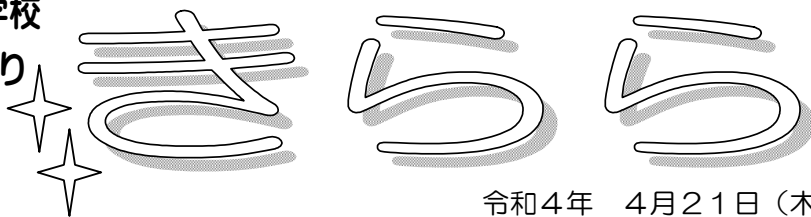


葦山南小学校
学校だより



令和4年 4月21日(木) 4月号

令和4年度のスタートにあたって

校長 植松 研吾

4月8日に入学式、着任式・1学期始業式を行い、令和4年度の学校生活が始まりました。本年度は、児童数349名と教職員数41名（非常勤職員、支援員等を含む）の体制でスタートいたしました。コロナ禍三年目を迎え、収束が見通せない状況ですので、感染予防対応を徹底・継続して参ります。今後も、葦山南小学校の教育活動への御理解と御協力をお願いいたします。

私の自己紹介が遅くなりましたが、高田英雄・前校長先生の後任として着任いたしました、植松 研吾（うえまつ けんご）と申します。旧葦山町出身で、葦山小学校及び葦山中学校を卒業しました。教職に就いてからは主に田方地区の小学校に勤務し、伊豆の国市では平成17年度から22年度まで葦山小学校に、平成23年度から24年度まで長岡南小学校に勤務しました。その後、伊豆市や函南町の小学校に勤務し、九年ぶりに伊豆の国市へ戻って参りました。自分の故郷である葦山地区の小学校に勤務できることを大変うれしく思っております。微力ではありますが、子供たちのための学校経営を精いっぱい進めて参りますので、よろしくをお願いいたします。

さて、本校の校訓は「克己」です。自分に克つ（勝つ）ことは大変なことですが、目の前の壁を乗り越えることを恐れていては成長を望むことができません。本年度の学校教育目標・重点目標（昨年度と同じ）、生活三目標を次のように設定いたしました。

- ◎学校教育目標 「学び合い 高め合い 笑顔あふれる きららの子」
- 重点目標 「自分の考えをもち 行動する」
「人・もの・自分を大切にする」
「心と体をきたえ 最後までやりぬく」
- ◇生活三目標 「元気な挨拶」
「時間を守る」
「整理整頓をきっちりと」



上記のように、本校では多くの目標が設定されておりますが、これらの目標に向かって子供たち一人一人が努力していくことが「克己」につながると考えます。家庭・地域・学校の連携によって自分に克つ子供たちを育てたいと思いますので、絶え間ない御支援と御指導をよろしくお願いいたします。

5月の行事予定（集団登校）

日	曜	給	行事活動予定	朝
1	日		B	
2	月	○	特5	清掃
3	火		憲法記念日	
4	水		みどりの日	
5	木		こどもの日	
6	金	○	街頭指導(委)	読書
7	土			
8	日		A	
9	月	○		読書
10	火	○	(代) (ク) F 集金日	朝会
11	水	○	街頭指導 PTA運営委員会	清掃
12	木	○	特5 尿検査	清掃
13	金	○	③④⑥交通安全教室	読書
14	土			
15	日		B	
16	月	○		読書
17	火	○	(ク) F ③⑤ペア	朝会
18	水	○	⑤⑥内科検診 ①②体力テスト SC来校	清掃
19	木	○	通常5 ③～⑥体力テスト	読書
20	金	○	③④内科検診	読書
21	土			
22	日		A	
23	月	○		読書
24	火	○	(ク) F ②⑥ペア	ドッジ
25	水	×	特3 田教研	清掃
26	木	○	⑥プール清掃	ドッジ
27	金	○	⑥プール清掃予備日	ドッジ
28	土		P奉仕作業 8:00-10:00	
29	日	B	P奉仕作業予備日	
30	月	○		読書
31	火	○	(ク) F ①④ペア	読書

○数字＝学年、F＝フッ素洗口 (代)＝代表委員会
 ペア＝集会 (ク)＝クラブ (委)＝委員会活動
 SC＝スクールカウンセラー 特5＝特別日課5時間

<連休中のお知らせ>

・緊急連絡は、

教育委員会 055-948-1444 学校携帯 070-2243-0668

へお願いします。引き続き、御家族も含めた健康観察を実施してください。なお、お子さんや同居家族でPCR検査等を受診することになった場合にはお知らせください。

これからの一年間

令和4年度も新型コロナ対策は、様々な形で課題となり続けることでしょう。安全を第一に考えながらも、教育課程については、可能な限り実施するという方向で準備をしています。

例えば、

- ・水泳について

プール使用は同時に二学級だったものを一学級に減らし、授業者以外に、監視や緊急時に対応できる大人を一人付ける。

- ・自然教室について

11/29～30に一泊二日で三島市の箱根の里で実施予定。詳細未定。

- ・修学旅行について

10/20～21に一泊二日で東京方面への旅行を実施予定。感染状況により変更の可能性があり、変更の場合には新たな企画料が必要になったり、キャンセル料が発生したりすることもある。

※現時点での計画であり、泊を伴う自然教室と修学旅行については、7月上旬に市教育委員会とも協議し決定していきます。

毎年の卒業アルバムの文集では、多くの卒業生が、小学校時代の思い出として修学旅行や自然教室のことを取り上げます。結果的にどんな形になるかは分かりませんが、最初から諦めるような計画ではなく、できる方法を探していきたいと考えています。子供たちにとってこの一年は、今しか体験できない、大切な一年として考えています。

本年度も、保護者の皆様、地域の皆様の御理解と御支援をよろしく願います。